

地域の協力のもと小・中学校が連携した体力づくり (9年間教育)

青森県弘前市立
ひがしめや
東目屋小学校

全校児童数95名
(男子45名 女子50名)

電話番号 0172 (86) 2011

実践内容

実施目的

- ①地域・PTAと連携・協力し、地域の人材・施設を活用した体力づくりを行う。
- ②小・中学校が連携した学校行事やスポーツ活動を通して9年間で子どもを育てる。
- ③伝統ある学校行事の意義を大切に、心身の健康保持・増進に努める。

実施内容

1 学校内での取組

(1) 朝マラソン、なわ跳びの全校活動

4月～11月は朝マラソン、12月～3月は体育館でなわ跳びを実施する。日頃から運動に慣れ親しみ、体力づくりを推進し、10月には校内マラソン大会を開催している。

(2) 全校児童による徒歩遠足

9月に本校の伝統行事である全校徒歩遠足を実施している。学校から岩木山桜林公園までの往復12kmを歩き、自然を満喫しながら根気と体力を養い心身の健康増進を目指している。

2 小・中学校の連携した取組

(1) 合同運動会

中学校とともに作り上げる合同運動会。中学生の高い体力、機敏な活動ぶりは学ぶことも多い。小・中学生が互いに協力し、支え合うよさが見られる合同運動会となっている。

(2) スポーツ活動・運動部活動

小学校児童は地域のスポーツ少年団（野球、ミニバスケットボール）に所属し、中学校には野球部、バスケットボール部があり、指導に一貫性をもたせることが可能である。それぞれ学校施設と地域施設を利用して、地域のスポーツ指導者から指導を受けている。

(3) りんご栽培体験活動

中学生、地域・PTAの協力を得ながら、りんご栽培の体験学習を行っている。毎回裏山まで歩き2時間ほどの農園作業を、地域の指導者のもと中学生の手解きを受けながら、りんご収穫へ向け汗を流している。自然体験学習が心身の健康保持の場となっている。

3 地域と連携した取組

(1) 地域の人材を生かしたクラブ活動

体育協会に協力を依頼し、スポーツに親しんでいる地域の方を指導者として招き、クラブ活動でバドミントン指導を行っていただいている。

(2) 地域のスキー場を利用したスキー学習

冬期間は体育の授業の一環としてスキー学習を実施している。地域にあるスキー場まで歩き、スキー学習を行う。スキー教室では地域のスキークラブの方から指導を受けている。

(3) 地域団体主催によるスポーツ活動日の設定

地区では「スポーツと読書を楽しむ日」を設定し、学校施設を開放し地域の小・中学生の為にスポーツと読書、それぞれを楽しめる場を提供している。

実施上で工夫したこと

- ①地域の体育協会、スキークラブ並びに地区PTAと連携を図り、地域の人材を最大限に活用し、学校での授業やスポーツ少年団活動での指導を工夫した。
- ②スキー学習やスポーツ活動で指導者同士の連携を積極的に進め、小学校から中学校へと継続指導を行い、9年間教育として心身ともに健やかに子どもを育てることができた。

主な成果

- ①地域の人材、施設を活用することで、地域の人とふれあい、安心感のある関係が構築できてきており、積極的にスポーツ活動に参加しようとする児童が増えた。
- ②児童の実態や取組状況等を中学校へ情報提供し、綿密な連携が可能のため、卒業後の子どもたちへの取組等について、9年間のスパンで同じ方向性で指導ができる。そのため、子どもたちの健康保持や体力向上面でよい成果が見られてきた。
- ③中学校においては、強豪校との対戦試合等で好成績を収めその成果が現れてきた。



朝マラソン

朝の体力づくり、元気に校庭を走る子どもたち



全校児童徒歩遠足

往復12km、根気と体力を養う

小学校



小・中学校合同運動会

中学生とともに作り上げる小・中学校合同運動会



小・中学校合同の農園活動・葉摘み作業

りんご収穫へ向け中学生とともに汗を流す



地域の人材を生かしたクラブ活動

体育協会によるバドミントン指導



地域指導者によるスポーツ指導

本校グラウンドで指導を受ける少年野球クラブ



スキー授業・教室

地域のスキークラブからスキー指導を受ける



スポーツと読書を楽しむ日

学校施設でスポーツを楽しむ子どもたち